

平成29年度 第3回伊勢崎市総合教育会議 議事録

会議の名称	平成29年度 第3回総合教育会議
開催日時	平成30年2月5日(月) 午後2時00分～午後3時00分
開催場所	伊勢崎市役所東館第4会議室
出席者氏名	<p>【委員】 五十嵐清隆市長、徳江基行教育長、大矢光利教育長職務代理者、宮川亮子教育委員、高橋慶一教育委員、津久井喜代己教育委員</p> <p>【事務局】 (企画部) 池田企画部長、細井企画部副部長、高柳企画調整課長、徳江係長、丸橋主査 (健康推進部) 橋詰スポーツ振興課長、黒崎係長 (教育部) 荻原教育部長、村井教育部副部長、定形教育部総務課長、二上生涯学習課長、田部井係長、阿左美主査、金井主任</p>
傍聴人数	—
会議の議題	協議事項 (1) 生涯スポーツの推進について (2) 平成30年度伊勢崎市総合教育会議の運営について
会議資料の内容	<p>【資料1】 生涯スポーツ推進に関する主な事業 【資料2】 競技スポーツ推進に関する主な事業</p>
会議における議事の経過及び発言の要旨	<p>1 開会【企画部長】 ただいまから、平成29年度第3回伊勢崎市総合教育会議を開催します。</p> <p>2 市長あいさつ 皆様、こんにちは。本日は、公私ともにご多忙のところ、第3回伊勢崎市総合教育会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。 また、教育委員の皆様におかれましては、日頃から、本市の教育行政の執行にあたり、ご指導、ご尽力をいただいておりますこと、心より感謝申し上げます。 さて、前回の総合教育会議では、大綱の基本方針の1つである「学校教育分野」のうち、「子どもたちの食育」について皆様にご協議いただきました。 本日は、大綱の基本方針の「生涯学習分野」のうち、誰もが生涯に渡り、年齢や体力などに応じて楽しめる「生涯スポーツ」に焦点を当て、ご協議いただきたいと思います。 委員の皆様には、忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>3 教育長あいさつ 皆様、こんにちは。本日は、寒い中、総合教育会議にお集まりいただきましてありがとうございます。 本市は、五十嵐市長のもと、豊かな都市づくりに取り組んでいますが、そ</p>

の中で、教育分野においても、豊かな教育の実践に取り組んでいます。

総合教育会議は平成27年度にスタートしましたので、本年度は3年目となります。また、本日は、本年度3回目の会議となるわけですが、委員の皆様には、日頃からご指導いただきまして、大変ありがとうございます。

教育委員会は、これまで市長部局と連携を図りながら、様々な施策について協力し合ってまいりました。

今後につきましても、委員の皆様からいろいろなご意見をいただきながら、市長部局との連携をより一層深め、教育行政の充実に努めてまいりたいと考えていますので、よろしくお願ひします。

4 署名委員の指名〔市長〕

まず、委員の出欠状況ですが、本日は全委員の皆様にご出席いただいています。

では、次第に従い、会議を進めさせていただきます。

次第4「署名委員の指名」についてですが、議事録作成の際に、議長及び委員1人に、その内容を確認いただいたことへの署名をいただくこととなっています。今回の議事録への署名は、宮川委員にお願いしたいと思います。

5 協議事項

(1) 生涯スポーツの推進について【資料1、2】〔スポーツ振興課係長〕

市民の皆様が、身近なところで自分に合ったスポーツを見つけ、生涯にわたって親しめるよう、市民スポーツの日、市民レクリエーションスポーツ祭、各種スポーツ教室等への参加を促進し、健康・体力づくりに繋がる一市民一スポーツ活動の普及と意識の高揚を図るとともに、健康で生きがいのある生活を送ることができるよう様々な事業に取り組んでいます。

生涯スポーツ推進に関する主な事業を紹介します。

まず、毎月第1日曜日に、体育館等を無料開放して実施している「市民スポーツの日」についてです。華蔵寺公園運動施設では陸上、テニス、ソフトテニス、卓球、バドミントン、トレーニング、赤堀運動施設ではバドミントン、卓球、バレーボール、あずま運動施設ではテニス、ソフトテニス、境運動施設ではバドミントン、卓球などができます。市民の皆様が家族や友達同士でスポーツに親しみ、スポーツを通じて健康な心と体を鍛える場を提供することで、明るく豊かなまちづくりの推進に努めています。資料1の①に参加者人数を掲載していますが、平成27年度は7,889人、平成28年度は6,855人の参加がありました。

次に、毎年6月の第1日曜日に実施している「市民レクリエーションスポーツ祭」についてです。レクリエーションスポーツを通じて、子供から高齢者、さらに障害者の方々が、それぞれの年齢や体力に応じた生涯スポーツの楽しさに触れ、また、参加者同士が交流を深めることができるよう、一市民一スポーツの推進を図っています。資料1の②に参加者人数及び種目を掲載していますが、平成27年度は1,763人、平成28年度は1,933人、本年度は1,557人の参加がありました。種目については、ターゲットボードゴルフやインディアカなど、全16種目のレクリエーションスポーツを実施しています。

次に、平成28年度から実施している「トライアルスポーツ祭 in いせさき」についてです。本市が掲げている一市民一スポーツを推進するとともに、市民の皆様がスポーツの楽しさに触れ、参加者同士が交流を深め、生涯にわたって健康で生きがいのある生活が実現することを目的に開催しています。競技種目についてですが、通常のトライアスロンが水泳、自転車ロードレース及び長距離走の3種目による耐久競技のところ、「トライアルスポーツ祭 in いせさき」では、高齢者や障害者が手軽に楽しめるスポーツということで、グラウンドゴルフ、スポーツ吹矢及びラダーゲッターの3種目による競技となります。参加資格は、65歳以上の市民及び障害者の方で、障

害者の方については、市内外、年齢は問いません。ルールは、本大会用の特別ルールを採用しています。平成28年度第1回大会は180人、本年度第2回大会は280人の参加がありました。なお、平成30年度第3回大会から、さらに多くの方に参加していただけるよう、市民の参加資格をこれまでの65歳以上から60歳以上に変更する方向で進めています。

次に、「スポーツ教室」についてです。小学生から高齢者まで、各世代が年齢、体力、技術に応じたスポーツ活動に取り組めるよう、各種スポーツ教室を開催し、全ての市民が生涯にわたって健康で生きがいのある生活を送ることができるよう努めています。各種教室の講師については、伊勢崎市スポーツ協会に加盟している団体に依頼しています。資料1の③に参加者人数及び種目を掲載していますが、平成27年度は31教室1,025人、平成28年度は31教室1,073人の参加がありました。

続いて、競技スポーツ推進に関する主な事業を紹介します。

まず、毎年10月に実施している「伊勢崎市民総合スポーツ大会」についてです。この大会は、生涯にわたって健康で生きがいのある市民生活の実現及び一市民一スポーツの推進を目的として開催しています。陸上競技をはじめ、全12競技16種目が行われ、市内11地区の代表選手が集います。本年度第13回大会から名称を改め、「伊勢崎市民総合体育大会」を「伊勢崎市民総合スポーツ大会」へと変更しました。資料2の①に歴年の総合成績を掲載しています。

次に、12月第1日曜日に開催している「伊勢崎シティマラソン」についてです。このシティマラソンには、全国各地からランナーが集まり、招待選手として、箱根駅伝10年連続出場の上武大学駅伝部に参加していただいています。コースの特徴についてですが、自然豊かな華蔵寺公園通りの緩やかな北勾配を走る充実感、西方面区間での上州名物からっ風との駆け引きによる自然との調和感、スピードに乗って北部環状線やけやき通りを颯爽と走る爽快感が魅力のコースとなっています。資料2の②に参加人数及び競技種目を掲載していますが、本年度第13回大会は、天候に恵まれ、穏やかな日となり、1,490人の参加がありました。競技種目については、小学生2km、5km、10km及びハーフコースがあります。

また、スポーツ指導者の養成として、平成27年度から、ジュニアの指導者を対象とした講習会を開催しています。平成27年度の講習会は、群馬県立中央中等教育学校野球部の松本稔監督を講師に、「高校野球監督3年スポーツ的指導をめざして」をテーマとして開催したところ、119人の参加がありました。平成28年度の講習会は、群馬大学大学院医学系研究科整形外科学助教の山本敦史先生を講師に、「ジュニアスポーツ指導におけるスポーツ傷害の防ぎ方」をテーマとして開催したところ、126人の参加がありました。

次に、「スポーツ少年団」についてです。スポーツ少年団は、小学生がスポーツを楽しみながら仲間を作り、健康増進を図るとともに、体と心を育む場です。また、子供たちの健全育成のために、有資格者に指導者となっただき、ボランティアとしてお力添えをいただいています。資料2の③に小学生（選手）、指導者の登録人数及び登録競技を掲載していますが、平成28年度は14競技80団体で合計1,904人の登録があり、平成29年度は12競技76団体で合計1,889人の登録がありました。団員の中には、群馬県大会で優勝したり、関東大会や全国大会に出場するような選手も多くいます。優秀な成績を収めた子供たちには、一般財団法人伊勢崎市スポーツ協会により、表彰を行っています。毎年5月には、伊勢崎市スポーツ少年団登録団体が一同に集まり、スポーツ少年団総合開会式を行っています。開会式終了後は、親子交流大会を開催し、スポレック、ドッチビー、ミニサッカー、グラウンドゴルフ、ソフトバレーボール及びキンボールの各競技に分かれ、少年団の競技種目を超えて、レクリエーションスポーツにより交流を深めています。

今後についても、生涯にわたって自分に合ったスポーツを楽しめるよう、市スポーツ協会をはじめ、各団体と連携を図り、一市民一スポーツの推進に努めてまいりたいと考えています。

[質問・意見等]

(津久井委員)

伊勢崎シティマラソンについてですが、参加費の徴収はあるのでしょうか。桐生市で開催されるマラソンでは、参加費が徴収されますが、参加賞として、桐生市出身のデザイナーによるTシャツがいただけるそうで、それを目当てとした参加者も多いようです。参加しやすい環境という点では、伊勢崎シティマラソンは少し淋しいような印象を受けますが、何か目玉となるようなものはあるのでしょうか。

(スポーツ振興課長)

参加コースにより金額は異なりますが、参加費は徴収しています。ハーフコースは3,000円、小学生コースは500円を徴収しています。

(宮川委員)

伊勢崎シティマラソンにはありませんが、桐生市のマラソンにはファミリーコースがあるとのことで、そのコースに参加したいため、桐生市のマラソンに参加する方もいらっしゃるようです。

(津久井委員)

桐生市のマラソンのファミリーコースは、家族で楽しんで参加できるようなコースになっているので、運動を始めるには良いきっかけになるのではないのでしょうか。

(市長)

資料2の②伊勢崎シティマラソンの参加人数をご覧いただくと、本年度第13回の参加人数が少し減っていることがわかりますが、これは、陸上競技場改修工事によるコース変更が要因になっていると思います。平成28年度までは、陸上競技場を発着地点としたコースで、日本陸上競技連盟の公認コースになっていましたので、走った記録が正式な記録となり、記録を目指しているような方が多く参加されてきました。本年度は、陸上競技場改修工事によるコース変更のため、公認コースではなくなり、記録は参考記録となってしまったため、これまで公認記録を目指していた方々が参加されず、参加人数が減少したものと考えています。陸上競技場改修工事は平成30年度まで続き、来年度も非公認コースとなりますので、恐らく、来年度も本年度と同程度の参加人数になるのではないかと思います。

コースについては、親子で参加できるようなファミリーコースを希望される方も多いため、スポーツ協会ではそうしたコースも検討しているようです。ただ、シティマラソンは、一般道をコースとしていますので、参加者に事故等がないよう最大の注意を払わなければなりません。参加者を多く集めることに主眼を置いてしまうと、交通整備等の面で対応しきれなくなってしまうことも考えられるかと思っています。

(宮川委員)

ジョギングなどは、道具もあまり必要ないので、始めやすい運動なのではないかと思っています。現在では、各地でマラソン大会が開催されていますが、記念となるような地元ならではの参加賞が用意されている大会もあるようで、それに惹かれて参加し、頑張って完走するというような話も耳にします。

また、スポーツ教室とスポーツ少年団についてですが、前者は単発で行わ

れているもので、後者は年間を通じて活動されているものなのではないでしょうか。

(スポーツ振興課長)

はい、そのとおりです。

(宮川委員)

市民体育館で体操教室、陸上競技場で陸上教室などが行われている話を聞き、インターネット上で検索したことがあります。なかなかそれらの情報を探し出すことができませんでした。例えば、誰でも確認できる掲示板などにそのような情報を掲載していただくと、情報を探している人にとってはわかりやすいのではないかと思います。

(スポーツ振興課長)

市主催のものであれば、市の広報紙やホームページなどを通じて情報提供を行っているのですが、市スポーツ協会所属の各競技団体主催のスポーツ教室などもあり、それらの情報提供については、実施団体に任せているので、団体のホームページに掲載されている場合もあれば、そうでない場合もあるかと思います。

(市長)

市スポーツ協会所属の各競技団体が行っているスポーツ教室などには、市が委託して実施されているものもありますので、そうした場合は、市の広報紙などで情報提供を行っています。市が関与していない場合は、その情報提供は、実施団体などによるものになるかと思います。例えば、最近では、サッカー教室が多いようですが、市のサッカー協会には所属していない個人のコーチによるもので、自ら地域でのチラシ配布などにより情報提供を行い、参加者を集め、参加費を徴収して実施しているような教室もあるようです。

(高橋委員)

先ほど指導者の講習会の話がありましたが、やはり指導者には、指導者としての意識をしっかりと持っていただき、こうした講習会には積極的に参加していただきたいと思います。

指導者としての適性があるかないかを見極め、指導者の質をどう確保していくのか、また、競技としてのスポーツに視点を置くのか、楽しみながら行うスポーツに視点を置くのか、そうしたことを明確にして指導者を養成していかなければならないのではないのでしょうか。もちろん、指導者自身もどちらに視点を置いたスポーツを指導していくのかを明確にしていく必要があるかと思います。

(スポーツ振興課長)

スポーツ少年団に登録している指導者は、基本的には、県スポーツ少年団主催の指導者講習を受講し、試験に合格した人です。

また、先ほどお伝えした講習会についてですが、スポーツ少年団の指導者が主な参加者ですが、学校の先生や地域クラブの指導者なども参加しています。昨日、「スポーツ指導における安全配慮義務」をテーマに講習会を実施したところですが、指導者は、子どもたちの技能や体力を普段から見極めて指導していかなければならないというようなお話もいただき、指導者にとって大変参考になる講習会だったかと思います。

(宮川委員)

生涯スポーツを考えた時に、大人になってから始めるのでは遅いということはないと思いますが、やはり、子どもの頃から、体を動かすことは楽しい

ことで健康にも繋がるということを知り、運動する習慣ができれば、それは最も理想的ではないかと思えます。学校での体育の授業がありますが、それだけでなく、例えば、放課後にスポーツ教室のような形で、ボランティアの方々にご指導していただき、金銭面においてもあまり負担なく参加できるような運動の場があると、大変ありがたいと思えます。

(スポーツ振興課長)

子どもの頃からいろいろなスポーツを経験することが大事ではないかと考えていますので、多くのスポーツ教室を開催しています。親が自分でしているスポーツを子どもにもさせたいというケースも多いようですが、そうになると、幼い頃から子どもは同じスポーツしか経験せず、スポーツに対する視野が狭まってしまわないかと感じています。今後、生涯スポーツにしても競技スポーツにしても、さらに発展していくものだと思いますが、子どもたちが自分自身でやりたいスポーツを決めていくことも必要なのではないのでしょうか。そのためにも、いろいろなスポーツを小さい頃から経験していただきたいと思っています。開催しているスポーツ教室は、基本的には参加無料で、資格を持つ指導者に講師をお願いしていますので、子どもたちにとっては、スポーツに触れる良い機会になると思います。最近では、オリンピックの影響もあり、スケート教室などが人気があります。

(宮川委員)

スケート教室も参加無料ですか。

(スポーツ振興課長)

靴代などをご負担いただくこととなりますが、参加は無料です。

多くのスポーツ教室を開催していますので、子どもたちにはいろいろなスポーツに触れていただきたいと思っています。

(高橋委員)

市民レクリエーションスポーツ祭の種目についてですが、いくつかあまり聞いたことのない種目名がありましたので、内容を簡単に教えていただけますか。スポレック、タスポニー、シャフルボード、ラダーゲッターについてお願いします。

(スポーツ振興課長)

スポレックは、室内ミニテニスのようなもので、ラケットはプラスチック製でボールはスポンジ製のものを使用します。安全性も高く、スピードもあまりないので、幅広い年齢層に楽しんでいただけるスポーツです。

タスポニーは、基本的なルールはテニスと同様なのですが、ラケットの代わりに自分の手で打ち合うスポーツです。ボールはバレーボール程度の大きさのスポンジボールを使用します。

シャフルボードは、円盤を10m程度先のコートに細長い棒で押し出すスポーツです。コート内に得点区域があり、押し出した円盤が到達したところの得点を競うスポーツです。カーリングに少し似ているかもしれません。

ラダーゲッターは、紐で繋がっている2個のボールを、7m程度先のはしごに向かって投げ、ボールが引っ掛かったところの得点を競うスポーツです。

(大矢委員)

各種目には、自由に参加できるのですか。

(スポーツ振興課長)

はい、運動ができる服装でその場に来ていただければ、自由に参加してい

ただけます。事前に申込みが必要な種目も中にはありますが、基本的には自由参加です。ご家族で楽しんでいただけますし、雨天の場合でも室内競技がありますので、多くの方に参加していただきたいと思います。

(宮川委員)

誰でも楽しめるスポーツを職場でも取り入れられるような支援などがあれば、職場内でのコミュニケーションを円滑にすることなどにも役立ちますし、ストレス解消にもなるかと思います。

(市長)

担当課にお問い合わせいただければ、用具の貸し出しなどについては協力できるかと思います。

(津久井委員)

私自身もそうですが、子どもの頃にスポーツをせず、大人になってから健康のために何かスポーツをしたいという人がいるかと思います。そういう人たちが、スポーツ教室などに参加するには至らないとしても、公園を歩く程度なら始めやすいかもしれません。私は時々公園を歩くのですが、よく利用する埼玉県の公園があります。その公園には、散歩コースがいくつかあり、コースごとに距離が表示されています。コースを案内する看板などを設け、その下にスポーツに関する情報を提供するような掲示板でもあれば、散歩に来た人が、掲示板を見て情報を得ることもできると思います。多くの人目に留まる場所に情報提供していただけると、スポーツを始めたいと思っているような人には、情報を得るきっかけになるのではないかと思います。散歩コースにしても、地図や看板などがあれば、運動に慣れていない人でも、それらを活用して、ウォーキングから運動を始められるのではないのでしょうか。

また、私が通う市外のスポーツジムがあるのですが、室内で運動できますし、常時スポーツに詳しい職員もいます。また、低料金で利用できます。そのような場所は伊勢崎市にありますか。

(スポーツ振興課長)

市民体育館内にトレーニングジム、あずまウォーターランドの2階にトレーニング室がありますので、ぜひご利用ください。

(市長)

今後は、そうした施設などをいかにPRしていくかが課題であり、情報提供について検討していかなければなりません。また、散歩コースについてですが、市民のもり公園の外周に距離が表示されており、どの程度歩いたかが分かるようになっています。

(高橋委員)

赤堀地区で、ウォーキングをしながら史跡巡りをするというようなイベントがありました。また、市民病院北側の西部公園や境赤レンガ倉庫前の広場を拠点とした同様のイベントもありました。ウォーキング協会などが主催しているのでしょうか。

(スポーツ振興課長)

西部公園の関係については、西部スポーツクラブ所属の方が主になって、教室を開催しているようです。

(教育部長)

健康管理センターによるはつらつウォーキング教室というものも開催され

ています。

(高橋委員)

史跡巡りなどをウォーキングと併せて行くと、スポーツにあまり関心がなくても、歴史に興味がある人は参加したいと思うでしょうし、ウォーキングであれば激しいスポーツでもないのので、参加しやすいのではないのでしょうか。

(津久井委員)

はつらつウォーキング教室についてですが、私は健康推進員も担っていますが、ウォーキングとはいえど、きつと感じたり、軽いと感じたり、感じ方の違いはやはり年代などによって異なるようです。参加者は少し少ないように感じています。

(高橋委員)

男女によっても参加意欲に差があるように感じます。女性は比較的何かに参加しようとする意欲が高いように思いますが、男性はなかなか経験がないことや新しいことなどに踏み出すことが少ないのではないのでしょうか。史跡巡りなどの歴史関係は、男性でも関心がある人は多いと思うので、そうしたものとウォーキングなどの運動を組み合わせると、参加しやすくなるのではないかと思います。健康寿命を延ばすためには、脳と身体の両方を活性化させることが必要だと言われていいますので、脳だけでなく、やはり身体も動かして活性化させていくことで、少しでも健康寿命を延ばすことに繋がれば良いと思います。こうしたイベントについてもっとPRし、まずは少しでも多くの人に知っていただくことが必要なのではないのでしょうか。

(宮川委員)

皆様のお話を聞いていても、意外に知らないことが多いという印象を受けました。毎年行われている子ども会の駅伝競走大会がありまして、参加者が少ない状況なのですが、意外と大会のことを知らないという声を耳にします。ので、やはりまずはPRして、より多くの方に知っていただくことが必要なのではないかと改めて思いました。

(市長)

子ども会の場合は、各町内の子ども会役員の方々により、声掛けを行ったり、周知を図っていただいています。年間行事としては、上毛かるた大会、相撲大会、駅伝競走大会がありますが、いずれも練習が必要ですので、これらの行事については、あらかじめ各町内で役員の方々が声掛けを行い、参加者を集めているかと思えます。行事の対象になる年齢のお子さんがいないご家庭などの場合は、行事自体を知らないということもあるかもしれません。

(スポーツ振興課長)

委員の皆様のご意見などから、情報が意外に伝わっていないことが分かりましたが、様々な団体が主催していますので、全てを広く周知していくには難しい面もあります。知り得た情報で、少しでも興味があるものであれば、まずは参加してみたいと思います。参加することにより、そこで知り合った人やスポーツ関係者などから他の情報を得ることもできるかと思えますし、やはり、まずはご自身で体験していただくことが一番大事なことでないかと思えます。

(市長)

子どもの頃にスポーツの経験があまりないような方で、大人になってから何かを始めるにしても、激しいスポーツを急に行うことは難しいと思いま

す。やはりそうした方には、ウォーキングやジョギングなどが始めやすい運動になるでしょうか。市民レクリエーションスポーツ祭などの各種目は、スポーツ未経験の方でも比較的取り組みやすいものが多いので、こうした行事については、PRをもっと強化していければと考えています。

(宮川委員)

先日、前橋市のトライアスロンの新聞記事を見掛けました。ママチャリでも気軽に参加できるような内容が掲載されており、参加対象の幅がより一層広がるように感じました。また、オリンピックやパラリンピックの開催ムードが高まってきているところで、健常者と障害者がスポーツを通して交流を図る良い機会にもなるのではないのでしょうか。

(高橋委員)

シティマラソンについてですが、実施するに当たり、いろいろと工夫できるのではないかと感じました。例えば、ファミリーコースを加えることも1つですが、最後に焼きまんじゅうを提供するなど、そういった楽しみがあっても良いのではないかと思います。競技スポーツという視点だけでなく、楽しみを付加するような視点から工夫していくことも1つの考えではないでしょうか。

(市長)

本市のシティマラソンについては、そもそも公認コースということで、正式な記録として残せることが目玉であり、参加者も自分の記録に挑むような人たちが主体となっています。また、ゲストラランナーについても、これまで、上武大学駅伝部の花田元監督や選手など、かなりハイレベルの選手に参加していただいています。参加者は、ハイレベルのゲストラランナーを追い掛け、最終的には自分の記録を伸ばすことを目的として走っているので、このシティマラソンは、非常に競技性が高いものです。やはり、競技性が高いものと娯楽性を求めるものを併せて行うことはなかなか難しいかと思います。

(宮川委員)

子どもの頃のスポーツは、勝つことに捉われがちですが、大人になると、勝つことばかりでなく、健康のことなども考えてスポーツをすることもあるかと思います。

(高橋委員)

ウォーキングにしても、記録に挑むわけではありませんが、どの程度歩いたかを自分の健康のバロメーターとしている人もいますので、どの程度の運動を求めるかは人それぞれになるでしょう。

(市長)

ウォーキングも、歩き方によって運動量が異なるようですので、散歩程度のマイペースなウォーキングとするのか、健康などを考えたウォーキングとするのか、その人が求める程度によって異なるだろうと思います。

本日は、生涯スポーツの推進についてご協議いただき、皆様からは、大変貴重なご意見をいただきました。

いただいたご意見にもありましたが、やはり、情報をPRして、広く周知を図っていくことが必要だと感じました。今後は、より一層情報提供などに力を入れてまいりたいと思います。

今や人生100年時代などとも言われています。より充実した人生を過ごしていくためにも、スポーツを通じていつまでも元気であることが何よりも大切なことではないでしょうか。

現在、スポーツ施設の整備も進めているところです。市民体育館の改修をはじめ、ソフトボール場のスタンド改修、テニスコートのコート面改修を終え、来年度は、赤堀テニスコートのコート面の整備を行います。また、改修中の陸上競技場については、来年度に工事が完了する予定です。

多くの市民の皆様、気軽にスポーツをしていただける環境を整えてまいりたいと思いますので、今後とも、委員の皆様におかれましては、ご指導賜りますようお願いいたします。

6 その他

特になし。

7 閉会〔企画部長〕

以上をもちまして、平成29年度第3回伊勢崎市総合教育会議を閉会します。

なお、本年度の総合教育会議は、本日の第3回会議をもちまして、緊急な場合を除き、終了となります。